

## 「森林だより」に投稿いただきました

「季刊誌を毎号楽しみに読んでいます」とおっしゃるA様より、故郷日南町を思う有り難い投稿を頂きました。

内容は「水の宝庫日南町」として水力発電を利用した活性化ができるのではないかと。また杉・檜だけでなく“どんぐり”、“くり”、“さくら”などの雑木にも目を向けてはどうか（原文は細やかな説明付き）。・・・など新聞、雑誌、インターネット、地域からの情報をもとに今後の私どもの活動に対し、真剣なアドバイスでした。

本当にありがとうございました。

今後ともNPOに対しご意見などありましたらお気軽にご連絡して下さい。

尚、ホームページにも私たちの活動を掲載しておりますのでご覧いただければ幸いです。

## 「生き抜く力」

日南中学校が発足以来、「生き抜く力」が校訓となっており、いろんな場で使わせていただきました。今回の統合小学校の校訓もこの「生き抜く力」で、小中一貫教育の趣旨に一致しています。学校では子供の学習意欲をどう引き出すかに努力されている。自ら学ぶ力を育むために、自ら積極的に行動し、身に付けることから始まる。学校まかせでなく、大人の社会が大いに場をつくっていく必要があります。

智頭町の「森のようちえん・まるたんぼう」は、三年前から始まり、森のルールを作り、それを自分で経験しておぼえる。すべて自然が相手だ。こうして「生き抜く力」が育まれていくのではないのでしょうか。

日南町でも、NPOが中心になってミニチュアツリーハウス作りや、植林の作業体験を実施しました。昨年は5回、今年は、はじめて5月20日にひのきの植栽を実施しました。伯耆地区郵便局長会を中心に約40名の参加により1200本のひのきの苗木を植えていただきました。子供さんたちの参加がなかったので、これが今後の課題です。

同日は第64回全国植樹祭が来年鳥取県で行われることから、1年前プレ大会が鳥取花回廊で実施され、みどりの少年団がこれに参加し植樹体験しましたので、このような体験の機会を定期的につくれたらと思います。

森林が永続的に循環していくためには、植栽・保育・伐採が繰り返され、経済活動が循環していくことが大切です。森林を育てるには、きつい労力・作業が長期的必要です。それこそ「生き抜く力」につながります。子供たちに森林を育てる体験をしていただき、森林保全活動が後世にいつまでも続くことが大切であると思っています。

NPO法人フォレストアカデミージャパン 理事長 矢田治美

## NPO法人フォレストアカデミージャパンについて

森林・林業・木材産業に携わる私たちは、生産事業の支援、保続可能な林業への再生、循環型社会の構築に向けて提言と作業を続けるとともに豊富な森林資源の開発・利活用をすすめ、さらに地域の活性化に貢献しようと、NPO法人を立ち上げたものです。

設立年月日 平成22年10月5日

ホームページ <http://www.chukai.ne.jp/~npo-forest-a-j/>

メールアドレス [npo-forest-a-j@sea.chukai.ne.jp](mailto:npo-forest-a-j@sea.chukai.ne.jp)

電話 0859-82-1788 FAX 050-5205-5371

## 日南の森林資源を育てる会議

日南町役場  
日南町森林組合  
株式会社 オロチ  
NPO法人フォレストアカデミージャパン

発行責任者 NPO法人フォレストアカデミージャパン  
鳥取県日野郡日南町下石見1843-1  
TEL 0859-82-1788